

麻農高 農場便り

あ・ぐ・い

griculture~農業~

第3号

H18. 3. 1

## 農場長より

卒業おめでとうございます！みなさんの成果が稔り本年度の農場予算（1,156万円）を大きく上回ることが出来ました。第3号では、農場生産状況の報告と先に行われました。校内農業クラブ研究発表大会の結果についても併せて報告したいと思います。尚、農場の売り上げの金額は全て県に納入済みです。



## 作物部門

おかげさまで収穫の秋を迎え、作付けした3種類の作物の生産を上げることが出来ました。それぞれについて説明したいと思います。

- ・水稲～「ひとめぼれ」については若干カメムシの被害を受けてしまいましたが、「コシヒカリ」については、大変品質がよく、精米して販売したところ大変よい評判を頂き喜んでいただいております。
- ・ソバ～例年通りのよい出来でした。
- ・サツマイモ～昨年に比べ豊作でありました。

プロジェクト学習については、2・3年の作物専攻生が、校内発表会に向けてたぐいまデータを集計中です。

## 畜産部門

9月に子牛が2頭(メス)生まれ、現在、すくすくと成長しています。

また、11月末には九州産(鹿児島県)の肥育素牛5頭を導入しました。



お母さんと一緒

九州から来ました



この牛を教材にして、新2年生のプロジェクト学習を進めたいと考えています。

今年度のプロジェクト学習では、「耶麻農牛のブランド化をめざして」をテーマに、夏休みに行われた県農業クラブ研究発表大会で発表してきました。

## 野菜部門

現在栽培している野菜は、ハウス内での春菊・ホウレンソウ・小松菜・水菜です。春菊は収穫最盛期であります。他の野菜は1月中旬頃が収穫最盛期と思われます。

生徒はプロジェクト学習のまとめの時期になっています。計画通りに実施できなく、予定とは異なってしまいましたが、昨年の経験を基に各自頑張っており取り組んでいます。1月26日の発表会には、各学年から1題代表者を選び、出場したいと思います。

## 草花部門

本年度のシクラメンの研究から会津地方のシクラメンの栽培が一番の課題(本年度の実証済み)。これをいかに克服するかに懸かっています。

種子をまいて2ヵ月後



研究から会津地方のシクラメンの栽培が一番の課題(本年度の実証済み)。これをいかに克服するかに懸かっています。

花満開



卒業を祝うかのように、本校温室は写真のようにプリムラ類、シネラリア、カルセオラリア、ペゴニアセンパフローレンス、パンジーなどが咲き乱れております。本校の卒業式を皮切りに喜多方市内の小・中学校の卒業式も飾ることになります。

